

## 第5回 市民との意見交換会 意見一覧【福祉教育分科会】回答案

No	年代	字名	意見内容	回答の検討	対応
4	70代男性	伊佐区	PCR検査を何回も無料で実施してほしい。	PCR検査につきましては、現在、発症者または濃厚接触者に対する検査が行われております。県内の検査体制に限られていることから、濃厚接触者ではない方が陰性を確認するために無料で検査を受けられる状況には至っておりませんが、御意見を市当局に申し送りするとともに、市議会としても検査体制等を注視しながら適切な対応を求めてまいります。	申し送り
5	-	(伊佐区)	普天間基地が隣接し、感染予防に努力しても米国人は、マスクもしないで市内をあるいています。軍雇用員、民泊を点在して何時コロナに感染するかわかりません。宜野湾市民に無料でワクチンが受けられるまで定期的にPCR検査が受けられるようにしてほしい。阿倍のマスクはいらないと地域からも発信し、その分他の予算を回してほしい。	ウイルス対策備品の配付につきましては、「新型コロナウイルス感染症対策必需物品供給事業」において市内医療機関等にマスクや消毒液等を配付したほか、「ぎのわんハートマスクプロジェクト」において市に寄贈されたマスクを自治会に提供する等の対応を行っている状況であります。市議会といたしましても、市民の皆様の声を伺いながら必要に応じて適切に対応するよう求めてまいります。 米軍に感染防止対策を求めることにつきましては、令和2年7月臨時会において意見書及び決議を可決しており、防疫チェック体制を厳重に行うことや行動履歴等の情報開示、米軍関係感染者の基地内隔離等を強く要求いたしました。	
6	70代女性	伊佐区	コロナに関してPCR検査の無償化及び除菌類の配布願ひ。		
7	40代女性	-	<地域支援について> 生活保護世帯の支援をしている者ですが、生活福祉課との連携がうまく出来ずに困っています。当事者から、生活福祉課の対応に恐怖を持っているとの事で「間に入って欲しい」と支援依頼がありました。現在も手続き等の補助していますが、「支援方針が違う」や「報告がない」など、当事者だけでなく、支援者にも高圧的な態度で接する事が多くなりました。こちらからも再三協力依頼をかけていますが、「敵対している」や「省かれている」、「福祉事務所への出入り禁止」等の発言があり、どのように支援して良いのか分からなくなっております。ちなみに他市町村での支援も行っていますが、このような問題が生じたことはありません。宜野湾市独自の態勢なのでしょう。	本市の福祉行政に対し、日頃より御支援・御協力いただいていることにつきまして、厚く御礼申し上げます。頂いた御意見につきましては、9月9日の福祉教育分科会において生活福祉課より聞き取りを行いました。 その結果、生活福祉課においては、通常の相談業務に加え、受給者を社会福祉協議会の権利擁護事業につなげることで相談しやすい環境づくりに取り組むなどの対応を行っている一方、通常ケースワーカー1名当たり80件程度を担当することとされている基準を超え、100件を超える件数を抱えている現状などが明らかになりました。 担当部署としては、常日頃から丁寧な対応を心がけているとのことであり、御指摘のような意図を持って対応したものではないと理解いたしますが、人員が不足し、多忙な業務の中で配慮を欠いた可能性もあるため、より市民に寄り添った対応をするよう求めるとともに、必要人員の適正配置についても申し伝えてまいります。	申し送り